

Pseudomonas aeruginosa由来のUDP-アセチルグルコサミン脱アセチル化酵素、組換え

Cat. No. NATE-1538

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明 UDP-アセチルグルコサミン脱アセチル化酵素は、大腸菌由来の金属依存性脱アセチル化酵素

であり、UDP-(3-O-(R-3-ヒドロキシミリストイル))-N-アセチルグルコサミン (myr-UDP-

GlcNAc)3の2-アミノ基からアセチル基を除去します。

別名 EC 3.5.1.-; 金属依存性脱アセチル化酵素; UDP-アセチルグルコサミン脱アセチル化酵素

製品情報

由来 E. coli

形態 35 mM NaHepesバッファー、pH 7.5、750 mM NaCl、200 mM イミダゾール、3.5 mM

CaCl2、0.02% ナトリウムアジ化物および25% (v/v) グリセロール

EC番号 EC 3.5.1.-

分子量 35.5 kDa

純度 >SDS-PAGEによる評価で90%

濃度 1 mg/mL

特異性 UDP-3-O-(R-3-ヒドロキシミリストイル)-N-アセチルグルコサミン

保管・発送情報

保存方法 この酵素は室温で発送されますが、-20 °Cで保管する必要があります。